



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

## 昔の暮らし展！やっています！

ここ六ヶ所村立郷土館には、明治・大正期から昭和40年代にかけての昔の生活の道具だけでなく農具や漁具が収蔵されています。

今回は、民具や漁具の展示の他に、旧二又小学校の子供たちが制作した教育版画のカレンダーや昨年本館に寄贈された民具等も展示し、当時の人々が、どのような思いで、ここ六ヶ所村で生活していたのかを、「感じ取って」いただければ幸いです。



昭和53年度(1978)日本教育版画コンクール「山のしごと」特賞受賞 1月たねまき 2年生制作

「山のしごと」の解説から一部抜粋：昔二又の人々の暮らしを支えてきたのは、馬を飼う仕事・畑仕事・炭を焼く3つの仕事でした。特に山の仕事は、①苗を育てる仕事②植林の仕事(地ごしらえ、植林)③植え付けの跡の仕事(1年から7年頃まで：下草刈り。10年から20年：除伐。20年から30年：間伐。20年から40年：枝打ちとつる切り。④木を切り出す仕事(切る、運び出す、作業道づくり、枝おとし、玉切り、製材所へ)⑤山で働く人の願い(山火事、山の神様への願い、植樹祭での祈り、けがのないように)⑥これからの二又：二又の人々と一緒に生きてきた山を、大切に守っていきましょう)以上のように行われてきました。※子供たちと先生方の思いがこもった力作です！